

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【体育祭】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3 学年混合の団を作成し、団対抗戦を行う。 ・実行委員(生徒会役員、希望者)による運営を基本とし、生徒の自主的な参加と練習の計画化を図る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>成果</p> <p>異学年との活動により他者理解・自己理解が深まった。全員で協力して行事を行うことの喜びを味わうことができた。各自がオンリーワンの個性を発揮し、お互いに認め合えるきっかけの行事となった。</p> <p>課題</p> <p>お互いを理解し、認め合える生徒全体の行事を継続して行っていきたい。</p>
<p>2 実践2 【特別の教科道徳】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 学年「親友」ジェンダー問題、2 学年「明日、みんなを着よう」いじめ問題、3 学年「ぼくの物語、あなたの物語」人種差別について。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>成果</p> <p>当初は、「なんとなく知っている」「ダメなことだとわかっているが深く考えたことが少ない」と答えていた生徒達であった。ジェンダー、いじめ問題、人種差別について道徳の授業を通して、「なぜいけないのか理解出来た」、「級友の思いを聞いて更に考えを深めることができた」などの回答が多く見られた。</p> <p>課題</p> <p>「多様性」は、これからの時代を考えていくための大切なキーワードであり、その背後にはいくつもの障害や多様なルーツ、LGBT などがある。それらをどのように捉えていけばよいかを全生徒・職員で捉え、「違いを認める」ということを継続的に全員で共有して行きたい。</p>